

令和6年第11回教育委員会会議録

1 日時

令和6年7月11日（木）15時00分

2 場所

教育委員会会議室

3 出席者

教 育 長：石橋正信

教育委員：町孝、原志津子、武部愛子、徳成晃隆

事 務 局：福田教育次長、木下理事

中尾総務部長、峯川職員部長、浦塚教育支援部長、齊藤指導部長、山田部長（高校教育等担当）

中野総務課長、平川教育政策課長、坂崎教職員第1課長、石橋課長（高校総体担当）、野原給食運営課長、石橋学校企画課長、大坪高校教育課長、永田教育ICT推進課長
山本発達教育センター指導係長

4 会議事項

(1) 付議事項

付議案第32号 教科用図書について

付議案第33号 教科用図書について

付議案第34号 附属機関委員の人事について

(2) 臨時代理報告事項

なし

(3) 協議・報告事項

協議・報告ア 令和6年度全国高等学校総合体育大会の開催について

協議・報告イ 公益財団法人福岡市学校給食公社の経営状況を説明する書類について

協議・報告ウ 令和5年度教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

5 開会

教育長開会を宣告 15時00分

付議案第33号は事業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがある案件のため、付議案第34号は人事に関する案件のため、協議・報告イは議会に報告する案件のため、協議・報告ウは意思形成過程の案件のため、議決により非公開とされた。

6 付議事項

▼付議案第32号 教科用図書について

大坪課長、山本係長より説明

《原案どおり可決》

〔質疑等〕

(町委員)

- 基本的に、高校は義務教育ではないので、それぞれの学校において適宜適切に選定いただいたもので良いと思う。

(徳成委員)

- 主体的・対話的で深い学びという新たな学びのスタイルによって、教科書は大きく変わっていったと思うが、大改訂から今年で何回目になるか。

(大坪課長)

- これまで3回選定している。

(徳成委員)

- 教科書そのものは大改訂があつてからは大きくは変わっていないか。

(大坪課長)

- 大きくは変わっていない。

(徳成委員)

- 高校それぞれで進路の課題も学力の課題も異なることから、学校内で選定するのが前提になってくるだろうが、そうはいいながらも毎年1年生、2年生、3年生の課題は変わってきているはずだ。その課題の変化とともに教科書を選考していくということで、資料の「採択候補教科書」は、これが生徒たちの学力実態に適合している教科書だろうが、現行の教科書とどれくらい変わっているのか。

(大坪課長)

- 昨年採択いただいたものから変わっているのが19件で、変更している主な理由は、今、教科書にはデジタル教材が付いており、その内容をみて、写真等が充実している、英語の発音が勉強になるといった、デジタル教材の活用のための変更であつたり、また、自校の生徒の学力、学習活動の変化に伴って選ぶ教科書が変わつたりしている。

(徳成委員)

- 英語の教科書が多く変わっているのか。

(大坪課長)

- 19件中英語が14件である。

(徳成委員)

- 他はどの教科か。

(大坪課長)

- 地理歴史等である。

(原委員)

- 費用負担があるので、そういったところも配慮されていると思うが、教科書の購入にだいたいどのくらい費用がかかっているのか。また、購入について支援などはあるのか。

(大坪課長)

- 高校の場合は有償であるので、おおむね、1年間で1万円前後、教科書費用を保護者が負担しているところである。これに副教材として、材料費などを1万円から2万円プラスされたものが、教科書と副教材でかかる費用となっている。学校、学科で差はあるが、おおむね年間3万円程度かかる。これに対する支援については、高校生等就学給付金制度があり、生活保護世帯、住民税非課税世帯を対象として、年額で私立の場合も含めて3万円から15万円までが給付されている。

(山本係長)

- 特別支援学校についても、教科書は有償ではあるが、就学奨励費として還付される。学校で購入するかたちをとり、県から就学奨励費を払っていただくので、保護者が直接購入することはない。

(町委員)

- QRコードについて、例として中学校の歴史の教科書をみると、会社の数は多いものの、QRコードを有効に活用しているものと、ほとんど使っていないものがある。デジタル化という部分で凸凹があると思うが、高校の場合、デジタル教科書を導入しようとしているところはあるか。

(大坪課長)

- デジタル教科書については、文部科学省によると、紙の教科書と併用して使用することが原則とされている。先ほど費用負担の話もあったが、デジタル教科書を入れるということになれば、保護者の負担が増大する。また、各教科書が、それぞれの仕様でデジタル教科書を作成しており、コンテンツが重いとネットワークに負荷がかかるため、ICTの環境を別途整備する必要が生じる可能性があるということで、今のところデジタル教科書を採用する予定のところはない。

(町委員)

- 将来的にはなっていくのか、それともあまり進んでいかないか。

(大坪課長)

○ 併用ということが解かれると状況は変わってくるかもしれない。

(武部委員)

○ 特別支援学校について、発達段階がいろいろあって、学習する力もかなりばらばらだと思うが、選定するに当たって、先生方はそこも含めて考えていただいているということでしょうか。

(山本係長)

○ 検定本の選定においても、各障がいや発達段階に合わせた教科書を選んでいく。

▼付議案第33号 教科用図書について

山本係長より説明

《原案どおり可決》

▼付議案第34号 附属機関委員の人事について

野原課長より説明

《原案どおり可決》

7 臨時代理報告事項

なし

8 協議・報告事項

▼協議・報告ア 令和6年度全国高等学校総合体育大会の開催について

石橋課長（高校総体担当）より説明

〔質疑等〕

(町委員)

○ バスケットボールは、ここ数年、福岡県勢が最低でもベスト4には入っている。バスケットボールは非常に人気があり、今回福岡市が担当になれたのは幸運だったと思う。オリンピックと重なってしまったが、相乗効果で良い結果が出ればと思う。

(徳成委員)

○ 陸上競技とバスケットボールが福岡市で開催されるということで、大変盛り上がることを期待している。大会の運営補助として、地元福岡市から先生方や高校生が多数参加されると思うが、その辺りの進捗状況はどうか。

(石橋課長（高校総体担当）)

○ 今回の大会運営に関しては、主催者である全国高体連において、主に高校の先生方に競技運営に携わっていただき、あわせて補助員についても、県内の高校生

に携わっていただく。既に先生方及び高校生については委嘱状を発送しており、必要数確保できている。

(徳成委員)

○ 市というよりも県全体で対応しているということか。

(石橋課長 (高校総体担当))

○ そのとおりである。

(町委員)

○ 福岡市立高校4校の補助員の枠はどの程度か。

(石橋課長 (高校総体担当))

○ 市立高校4校ではないですが、バスケットボール全体で教員等大会役員延べ約1,700名、補助員延べ約3,000名の委嘱を行っている。

(町委員)

○ 駐車場での車の案内などもされるのか。

(浦塚部長)

○ 教員や高校生は行わない。

(原委員)

○ 人気の競技で人も多く安全面が気になるが、運営は先生と高校生だけで行うのか。民間等に委託はしないのか。

(石橋課長 (高校総体担当))

○ 大会運営、競技運営については全て教員と生徒で行う。会場の設営準備等は委託業者をお願いしている。

▼協議・報告イ 公益財団法人福岡市学校給食公社の経営状況を説明する書類について

野原課長より説明

▼協議・報告ウ 令和5年度教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

平川課長より説明

9 閉会

教育長閉会を宣告 16時44分